

2024(令和6年) ハタハタ情報 No.1

令和6年9月17日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリンネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2024年8月29日～9月2日に、留萌沖の水深200～400mの7調査点でトロール網による漁獲試験を行い、ハタハタを採集しました。

- 採集された標本は1個体（3歳）のみ
- 水温は過去3年と比較して表層および底層で2℃程度高い値

1. ハタハタの採集状況

今回の調査では留萌沖の7地点でトロール網を曳き、ハタハタを計1尾採集しました。1歳以上の1マイルあたり平均採集尾数は0.22尾であり、前年（1.3尾）より減少し、2019年並の少ない尾数でした（図1-1, 1-2）。

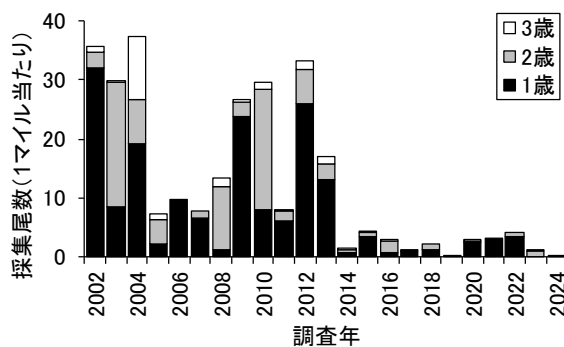


図1-1 採集尾数の推移（2009年までおやしお丸、2010年以降は北洋丸で採集）

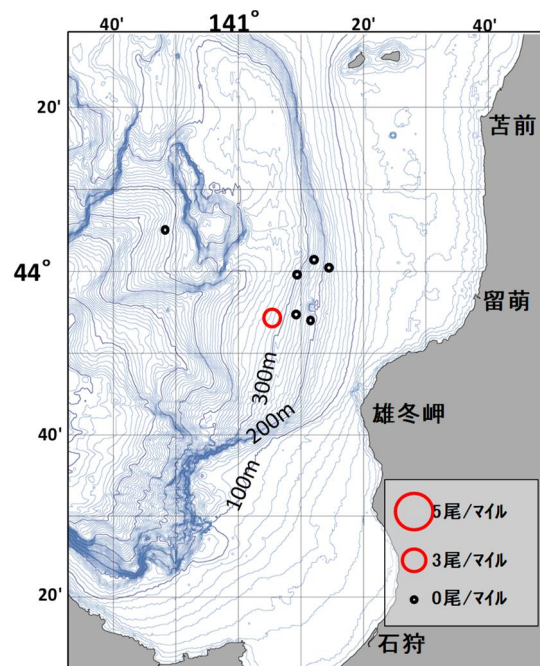


図1-2 トロール調査による採集尾数（赤丸1歳以上、黒点はゼロ尾）

2. ハタハタ（1歳以上）の体長と年齢

今回の調査で採集された1歳以上のハタハタの体長は19.7cmで、メスの3歳魚でした（図2；採集尾数が少ないため2023年までの参考図）。今回の調査結果から成熟の進行具合や沿岸来遊時期を判断するのは困難です。次回10月のトロール調査結果に基づき改めてお知らせする予定です。

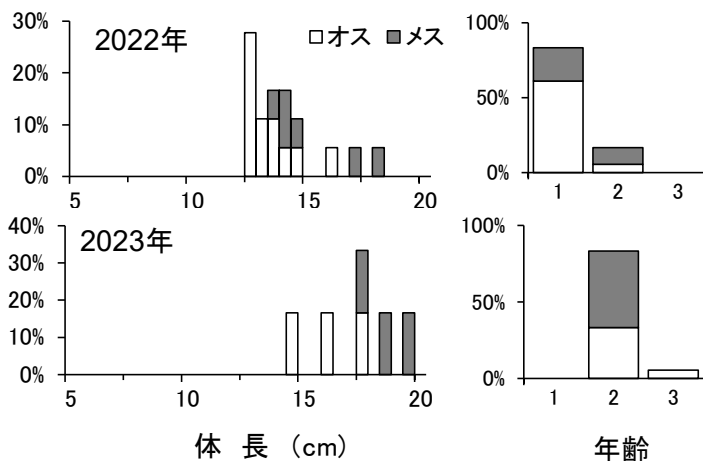


図2 トロール調査で採集されたハタハタ（1歳以上）の体長組成と年齢組成（2023年までの参考図）

3. 0歳の採集状況

今回の調査におけるハタハタ 0 歳魚の採集尾数は 0 尾であり、2022 年から低迷しています。（図 3）。

2021 年の 0 歳魚の採集尾数は、調査点が少なく過大評価の可能性のあるものの、比較的高い値でした。その後も 2022 年の 1 歳、2023 年の 2 歳として多く出現しましたが（図 2）、資源全体を押し上げる規模ではありませんでした。

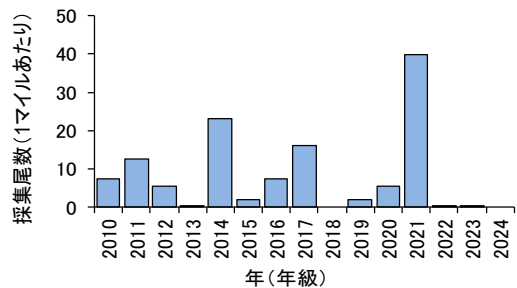


図3 9月トロール調査による0歳魚の採集尾数

4. 水温

今回実施した CTD による雄冬沖（北緯 44 度，東経 141 度）の表層から底層までの水温観測結果を過去 3 年（2021～2023 年）の平均値と併せて示しました（図 4）。

今回観測した水温は表層付近では 23℃を超え，過去 3 年平均と比較して最大 3℃高い水温でした。深度 100m では平均より 2.1℃，200m 水深で 2.3℃高い水温でした。

5. 今後の調査など

次回の北洋丸によるトロール調査は，10 月中～下旬に雄冬沖の海域で，スケトウダラやニシンの分布調査を兼ねて実施する予定です。付近の海域で操業中の漁業者の皆様には何卒ご配慮いただきますよう，よろしくお願いいたします。また，漁期中には漁獲物標本の採集調査も実施いたしますので，重ねてご協力をお願いいたします。

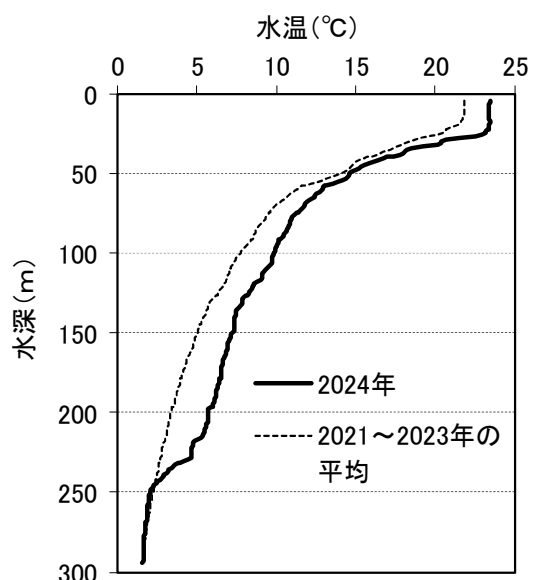


図4 雄冬沖（44° N，141° E）の水温分布